



ガリガリ君 E-mail 通信

令和6年8月(第190号)
(下水道展 '24 東京 速報版)

下水道既設管路耐震技術協会

現在開催中の「下水道展 '24 東京」の開催状況を速報版でお伝えします。この他、耐震一発くんの施工管理者講習会、技術者研修会関係の情報などをお送りします。

○ 下水道展 '24 東京が開催されています

今年度の「下水道展 '24 東京」が7月30日(火)～8月2日(金)の間、東京ビッグサイト 東展示棟で開催されています。3日目までの開催状況をお伝えします。

1 全体の状況

前回の東京開催時は、コロナ感染の流行時のため入場者数が低調だったのに比べ、今回は非常に活況のうちに開催されています。3日目までの来展数は表-1となっています。

表-1 3日目までの来場者数(人)

	7月30日 (火)	7月31日 (水)	8月1日 (木)
全体来場者数	10,831	12,964	13,591
協会ブース 来場者数	91	107	117

本協会ブースへの来場者数は、3日目までで315人ですが、名刺を頂いた人数のみで、グループでの来場者については代表者1名の分しかカウントされていないため、実際の人数についてはこの5割増し程度と思われます。

今回の開催にあたって、主催者の下水道協会が例年行ってきた、子供や一般来場者向けのショーやスタンプラリーなどのイベントを中止し、来場者を業界関係者に絞っています。このため会場の様相が例年と異なる中で開催となっています。

こんな中、今回の来場者や反応には次の特徴があります。



写真-1 協会ブース全景



写真-2 コンサルタント会社のグループでの来場

- ・コロナ流行の期間中減少した自治体関係者の来場が以前の状況まで回復している。
 - ・コンサルタントや建設会社などの若い社員グループによる来場が多い(写真-2)。
 - ・能登半島地震の影響もあり、被災状況を紹介するパネルとともに、液状化実験への関心が非常に高い(写真-3～7)。
- 最終的な結果については、9月号でご紹介します。



写真-3 能登半島地震での被害や耐震状況を介绍する写真

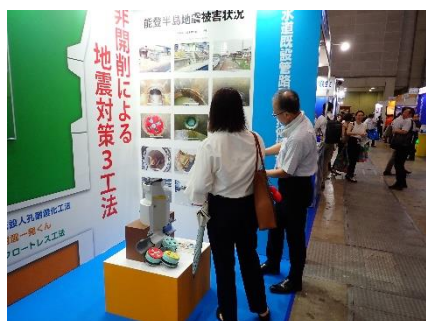


写真-4 能登半島地震調査概要の説明



写真-7 管口耐震についての説明



写真-5 簡易液状化実験の様子

写真-6 相変わらず人気のある液状化実験



○ 耐震一発くんの講習会・研修会が終了しました

今年度の耐震一発くんの管理者講習会、技術者研修会が終了しました。

7月17、18日の2日間に亘り、講習会を埼玉県草加市の新里文化センターで、研修会を(株)メーシック谷塚事業所内で実施し、講習会については27名、研修会については19名の方が受講・受研し、管理者証、技術者証を交付しました(写真-8～9)。実施結果の内訳は表-2のとおりです。

表-2 講習会、研修会受講者数

	実施日時	受講会員数 (社)	受講者数 (人)
施工管理者講習	7月17～18日	7	27
施工技術者研修	7月17～18日	5	19
計(重複除く)		8	29



写真-8 耐震一発くん 講習会実施状況



写真-9 耐震一発くん 研修会実施状況

○ 西日本支部、九州沖縄支部の支部総会が開催されました

7月30日、西日本支部の第11会支部総会と九州沖縄支部第7会支部総会が、大阪市内および福岡市内で開催されました。

西日本支部総会には本部から荻原事務局次長が、九州沖縄支部総会には富田運営委員長が出席し、令和5年度の事業・決算報告、令和6年度の事業計画案・予算案の4議案が事務局より提案され、満場一致で採決されました。



写真-10 西日本支部総会
開催状況

協会からのお知らせ

○ 最近のニュースから

- 7月16日、国土交通省は能登半島地震での上下水道施設の被害を踏まえ、各自治体へ耐震計画の策定・更新を求めるとともに、計画に基づく対策事業への支援方策の検討を行うことを決めました。全国の上下水道施設の耐震化率が非常に遅れていることから、国の示した耐震性確保の優先度の高い施設への点検・調査を行い、その結果に基づき今年度末までに耐震計画の策定、または更新を求めるものです。そのための調書を水道・下水道事業者へ発出し、10月末までにその結果を公表する予定です。
- 8月2日、政府の地震調査委員会が、兵庫県北方沖から新潟県上越地方沖でマグニチュード7以上の地震を起こす恐れのある活断層を公表しました。主に長さが20km以上の断層が対象で、このうち25の活断層がマグニチュード7以上の地震を引き起こす可能性があるとして評価されています。来年前半にはこれらの断層の地震発生確率についても公表される予定です。

編集後記

・下水道展が盛況のうちに開催されています。前回の東京開催時はコロナ感染流行の真ただ中で、寂しい下水道展となりましたが、今回は用意したパンフレットが2日目で無くなり、大慌てで補充するほど来場者が多くなっています。ただ、本文中でもご紹介しましたが、子供や一般の方を対象としたイベントが行われていないため、その面ではやや寂しい展示会となっています。本協会ブースでも、子供・一般向けの液状化実験やお土産を用意していましたが、今回(今後も?)出番があまりない形で終わりそうです。